



NPO 法人

ひろしま人と樹の会

会報 No. 273

□理事長 荒川 純太郎

□事務局 〒733 - 0852 広島市西区鈴が峰町 16 - 20 (中元明弘)

Tel&fax 082 - 277 - 9490 E-mail: hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

□年会費 2,000 円 郵便振替 01360-4-29388 「ひろしま人と樹の会」

□編集責任者 古川ちひろ

本号の内容

<セミナーのご案内>

1. 第 237 回現場セミナー 炭焼き体験
(11/18 : 土~11/30 : 木、12/17 : 日)
安芸高田市八千代町土師ダム湖畔
2. 【再掲】番外編現場セミナー
「千里の森」の植樹祭とミカン狩り
(11/23 : 木・祝)
尾道市山波町
3. 【再掲】番外編現場セミナー 屋敷林整備
(一部変更)
(12/2 : 土)
三次市三良坂町大字三良坂字黒田 松島宅
4. 番外編 現場セミナー桜守りプロジェクト
土師ダム湖畔のさくら並木の手入れ参画
(12/3 : 日)
安芸高田市八千代町土師はじ丸館
5. 第 238 回現場セミナー 八千代町里山保全祭り
(12/23 : 土・祝)
安芸高田市八千代町土師

<セミナー等の報告>

1. 番外編現場セミナー 旧歩道の整備
(10/10 : 火)
安芸太田町中簡賀
2. 番外編現場セミナー 竹林整備事業
(10/21 : 土)
安芸高田市八千代町土師ダム湖畔
3. 第 236 回現場セミナー クマとの共生柿もぎ体験
(10/28 : 土)
安芸太田町戸河内上田吹

<事務局からのお知らせ>

今月はありません。

◆セミナーのご案内◆

1. 第 237 回現場セミナー 炭焼き体験 (11/18 : 土~11/30 : 木、12/17 : 日) 安芸高田市八千代町土師ダム湖畔

今年も寒い、寒い、冬が来ます。土師ダムの湖畔にある当会の炭窯で作った木炭は毎年好評で今年も要望が多く来ています。

ついては、炭焼きを次の通り計画します。

炭は、地球環境にとっても優しい商品です。あなたも炭づくりの技術を身に付け地球温暖化防止に貢献してみませんか！あなたの行動力が地球を救うきっかけとなります。

今回の木炭は、12 月 23 日（金・祝）に開催する「里山保全祭り」に提供を予定しています。

1 日時

11 月 18 日 9 時~16 時

炭にする材の伐り出し、運搬、薪割りなど

11 月 19 日炭窯への材の立込み、火入れ

11 月 20 日~30 日 火の管理

12 月 17 日 炭だし、袋詰め

2 場所

安芸高田市八千代町土師ダム湖畔

3 内容

炭焼き体験（炭焼きの全工程）

炭木の採取から薪割り、炭窯への立込み、

火入れ、火の管理、炭だし、袋詰め

4 会費

500 円/日（豚汁、保険料など）

5 持参品

作業のできる服装、特にほこりがひどいので、マスク、カッパが必要、お椀、箸、コップ、弁当など

6 申込先

事務局まで

NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局行「炭焼き体験」申込書 Tel&FAX082-277-9490

名 前（年齢）	住 所	連 絡 先	備 考 参加希望に○を付ける
			①18 日 ②19 日
			①18 日 ②19 日
			①18 日 ②19 日

2. 【再掲】番外編現場セミナー 「千里の森」の植樹祭とミカン狩り (11/23: 木・祝) 尾道市山波町

千里の森（1.0ha）は、当会と森林ボランティア団体「千里の森プロジェクト」が共催で、昨年からはノキの間伐や枝打ち植樹祭を実施した里山です。

今年、7 月と 9 月にも共催でこの里山の間伐や枝打ち、草刈りを行いました。また、11 月 3 日には植樹とミカン狩りを計画しましたが、長雨のためミカンの成熟が遅れており、11 月 23 日に変更しました。

地元住民や他の団体の方たちと一緒に花が咲き、実のなる木を植樹したりミカン狩りを行います。一緒に森づくりについて学び、楽しいミカン狩りを通して地域との交流を図りたいと思います。

皆さんの参加をお待ちしています。

1 日程

11 月 23 日（木・祝）9～15 時（雨天中止）

2 場所

尾道市山波町僧都東側山林

（近くに駐車場有ります。）（次頁参照）

3 対象

森の手入れに興味のある方

4 募集人員

20 名（申し込みは先着順）

5 参加費

500 円（トン汁、保険など）

6 持参物

作業のできる服装、作業靴、軍手、タオル、弁当、お茶、ミカンを入れる箱

7 集合解散

現地集合・現地解散

8 申込期限

11 月 17 日（金）まで

事務局中元 TEL・FAX 082-277-9490



3. 【再掲】番外編現場セミナー 屋敷林整備 (12/2:土) 三次市三良坂町大字三良坂字黒田 松島宅

今回の現場セミナーは、松島宅の屋敷林が繁茂し、風通しが悪くなっており、家の周りの木を伐ってほしいと要望があり実施する活動です。

①枯れた松の伐倒、②カシ類の伐倒、③伐倒木の処理などです。

性別年齢は問いません。

それぞれに見合った作業を用意いたします。

多数の参加をお待ちしています。

1 日時

12 月 2 日(土) 9 時 30 分～15 時

2 場所

三次市三良坂町大字三良坂字黒田 1273
松島宅

3 集合場所

現地（位置図参照）

4 持参物

長袖作業服、帽子、手袋、タオル、弁当、
箸、お椀（お持ちの方はヘルメット、チェー
ンソー、ナタ、ノコなど）

6 申込先

11 月 22 日(水)までに事務局まで
TEL&FAX 082-277-9490
Mail:hiroshimahitottokinokai@yahoo.co.jp

5 参加費

500 円(保険料など)

NP0 法人ひろしま人と樹の会事務局行「松島宅」屋敷林整備 参加申込書

名 前 (年齢)	住 所	連絡先 (電話)	備 考
()			
()			
()			



4. 番外編現場セミナー 桜守りプロジェクト 土師ダム湖畔のさくら並木の手入れ参画 (12/3:日) 安芸高田市八千代町土師はじ丸館

土師ダム湖畔には、6,000本のさくらが植栽され、「全国さくら100選」に選ばれ、県民に親しまれています。

この名物のさくらの木は、老齢化が進み、天狗巣病などにかかり生育不良も多く、場所によれば著しく景観を損ねて緊急に手入れが必要になっています。

この度も公園を管理されている国土交通省の土師ダム水源地域ビジョン「桜守プロジェクトチーム」から病気の桜を元気にする手伝いを要請されました。

ついては、お手伝いに次の通り参画しますのでご協力をお願いいたします。

どなたでも参加できます。体力に見合った作業を用意しますのでお子様や友人、知人お誘いあわせで参加をお願いいたします。

1 日時

①下準備

11月27日(月) 9時30分～15時

(チェーンソーを扱う方募集:10人)

②本番

12月3日(日) 9時30分～15時

(桜の枝払い、枝の集積、運搬、施肥、
なめこの植菌など)

2 場所

(現場) 土師「のどごえ公園」周辺

(集合) 土師ダム湖畔「はじ丸館」9時受付

3 参加募集予定

100人

4 作業内容

①下準備

病気の桜木伐倒ですのでチェーンソー経験者対象です。

②本番

桜の枝払い、枝の集積、運搬、
施肥、なめこの植菌など

(お子様、男性、女性は問いません。どなたでも参加できます。)

5 会費

無料(食事付き)

6 持参品

作業のできる服装、タオル、ヘルメット、
ノコ、山鎌など

7 主催

桜守りプロジェクト

8 申込先

事務局 中元まで11月20日必着

【土師ダム湖畔位置図】



5. 第238回現場セミナー 八千代町里山保全祭り (12/23: 土・祝) 安芸高田市八千代町土師

2018 年が間近に迫ってきました。新年を迎える準備にぴったりの手作り体験イベントです。今回 17 回目となる交流事業です。門松、正月飾り、しめ縄を作ります。自作の「門松、正月飾り、しめ縄」を玄関や床の間に飾れば、周囲に自慢できること間違いなし。お正月から気分よく過ごせます。

昔ながらの門松、正月飾り、しめ縄や餅つきを体験して、日本らしいお正月にふれてみませんか。

ご家族、知人、友人を誘い合ってご参加ください。

1 日時

12 月 23 日 (土・祝)

2 場所

安芸高田市八千代町土師 (土師ダム湖畔)
はじ丸館 (現地集合・現地解散)

3 主催

八千代町湖畔祭り実行委員会、
NP0 法人ひろしま人と樹の会

4 後援

安芸高田市

5 内容

しめ縄 (有料) (30 人)、門松 (有料) (20 人)、正月飾り (有料) (30 人)
餅つきもあります (先着順 80 人程度)

6 日程

- 9 時 受付、登録
 9 時 30 分開会、挨拶、オリエンテーション
 10 時 作業（門松、正月飾り、しめ縄、）
 12 時 昼食 交流会
 13 時 作業（門松、正月飾り、しめ縄、）
 15 時 解散

7 参加費

しめ縄（1,000 円）、
 門松、正月飾り各組 2,000 円（材料代他）
 （参加のみは無料）

8 持参品

作業のできる服装、防寒服、雨具、帽子、
 作業靴、軍手、タオル、水筒、お椀、箸
 お持ちの方は、剪定ばさみ、鋸、手斧、
 切り出しナイフ等

9 申込先

12 月 14 日（木）までに事務局（中元）まで
 （できれば FAX かメールでお申込ください。）

FAX&TEL 082-277-9490

Email :hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

（注）必ず事前に申し込みをお願いします。希望の多い作業コースは先着を優先して組替を致します。

-----切り取り線-----

八千代町里山保全祭り参加及び希望コース申込書(参加のみも申し込んでください。)

申込締切月日 平成 29 年 12 月 14 日

名 前			性 別	男・女	年 齢	才
住 所				電話番号		
希望コース	正月飾り		しめ縄作り		門松作り	

注意 希望コースの横枠に希望順に 1 番から 3 番までを記入してください。

◆セミナー等の報告◆

1. 番外編現場セミナー 旧歩道の整備 (10/10:火) 安芸太田町中筒賀

晴天の秋空の下、中筒賀市から戸河内町段に通じる旧道の筒賀側峠までの歩道 1,300m 間（標高差 160m）の整備を行った。

地元天上山結クラブ（会長奥下武士氏）から依頼を受けて、数年前に台風や豪雨により倒壊し、道をふさいでいる倒木の整備、道草刈りを行った。当会から 9 名、地元から 8 名が参加した。

9 時に筒賀支所の駐車場に集合、地元天上山結クラブ会長のあいさつを受けてから草刈り班、チェーンソー班（3 組）に分かれ作業に入る。地元の方々は坂道の階段づくりや雨水で洗掘した箇所を補修された。

風倒木は約 20 本。中には直径 40 cm もありチェーンソーのバーが届かないものがあつた。歩道をふさいでいる丸太は 50 cm 程度に切断し道横に積み重ねて処理した。約 3 時間かけて風倒木の処理や草刈りの結果、旧道は歩きやすい歩道となった。



地元からは、「数年来の懸案事項であつた風倒木の処理をしてもらい、とても歩きやすい道となった、昔よく戸河内との交流で使つた懐かしい道の復活で嬉しい。今後は鍋山に登るイベントも企画し子供たちと登りたい」と話されていた。

昼食には弁当をごちそうになり、午後 1 時過ぎ解散した。皆さんお疲れさまでした。

（報告者：櫻井充弘）

2. 番外編現場セミナー 竹林整備事業 (10/21:土) 安芸高田市八千代町土師

10月21日に、土師ダム近郊の渡利さん所有の竹林で、竹林整備を行いました。今回は作業班7名と食事班3名が集合しました。当地での作業は、今回が初めてです。1㎡当たり2～3本ほどの密度にしてほしいとの希望で、竹の除伐を行いました。

9時に渡利さん宅に集合し、作業の内容の確認をしました。現地は傾斜が急峻で、慎重に作業を行いました。



孟宗竹が密集している場所には杉も数本あり、杉は伐り倒さないため、作業は難航しました。細い竹が多い場所では鋸で除伐を行いました。所有者の同意を得て、田んぼの方向へ竹を倒していきまし。伐った後は運び出してチップパーで粉砕しました。



昼頃に雨が降り出し、作業はいったん中断しました。

昼は、渡利さん宅で御馳走をいただきました。おむすび、漬物などに舌鼓を打ちました。

午後からは、雨天の中、午前中に伐採した竹の処理を行いました。伐った後の竹を山から運び出し、粉砕しました。太いものは2mの長さに玉切りし、トラックで運搬しました。

その後、側溝と畦道の清掃を行い、竹のチップを畦道から山へ移動させました。雨の中の作業は、粉塵が少ないという面で利点はあったものの、足元に気を付けながら滑らないように作業する必要があります。



作業は、予定の4時より1時間弱ほど早く切り上げました。

作業前に生い茂っていた竹林は、風通しがよくなり、明るくなりました。所有者も喜んでいらっしゃいました。



太い竹は炭焼きで利用し、竹炭にします。まだ手が及んでいない場所もあるため、作業は継続する予定です。

(報告者：武内泰治)

3. 第236回現場セミナー クマとの共生柿もぎ体験 (10/28:土) 安芸太田町戸河内上田吹

台風 22 号の影響で小雨が降る集落に歓声が響きわたった。ツキノワグマが餌を求めて人里に出没することがないような環境づくりを目指して「クマとの共生柿もぎ体験交流会」をした。広島市内から会のメンバーや友人ら 17 名が参加し、地元からも 17 人が加わった。

安芸太田町戸河内地区上田吹集会所に集まり、今川自治会長さんの歓迎のあいさつ、続いて「祇園坊育てる会」会長の田地洋之さんから実のもぎ取り方の手ほどきを受けた。

参加者は、地元農家の人と一緒に長い鋏を使い、約 20 本の木から黄色に色づいた柿の実をもぎ取りコンテナに収穫した。



【雨にも負けず実をもぎ取り】

なお、収穫した柿は、地元のご厚意によりドライアイス入り 1 箱 2,000 円で 43 箱を、ナイロン 1 袋詰め 500 円は 29 袋持ち帰りました。



【小雨に濡れた柿を丁寧に拭き箱詰め】

上田吹は標高 400m の山里で、地域特産として高級干し柿に加工する祇園坊を休耕田などに植えている。

昼食交流会では、地元女性会が地元食材を使って作った料理、つくたてのお餅（草餅、芋餅）や新米、イノシシ汁、焼き肉のおもてなしがあり、ふるさとの味を堪能した。一同感謝、感謝



同地区は、過疎高齢化が進み柿の収穫が負担になるなど悩みを抱えていた。都市と山村の住民が自然に触れあいながら人と自然、人とクマについて一緒に考える試みとして、柿もぎ体験を始めてから今回で 15 回目である。

(報告者：櫻井充弘)